



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

東・福

上場会社名 株式会社九州フィナンシャルグループ 上場取引所
 コード番号 7180 URL <http://www.kyushu-fg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 基宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 林田 達 (TEL) 096-326-5588
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 有
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	90,126	—	23,324	—	108,194	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 102,598百万円(—%) 27年3月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	354.23	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は平成27年10月1日設立のため、前年同四半期の計数及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,779,033	608,090	6.8
27年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 597,862百万円 27年3月期 —百万円

(注1) 自己資本とは、期末純資産の部合計から期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(注2) 当社は平成27年10月1日設立のため、前年度の計数は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 28年3月期(予想) 期末の配当金の内訳 普通配当5円 記念配当1円(経営統合記念配当)

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,600	—	25,900	—	108,000	—	316.88

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は平成27年10月1日設立のため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	463,375,978株	27年3月期	—株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	8,858,114株	27年3月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	305,434,825株	27年3月期3Q	—株

(注1) 当社は平成27年10月1日設立のため、前年同四半期及び前年度の計数は記載していません。

(注2) 普通株式の期中平均株式数は、当社が平成27年10月1日に共同株式移転により設立された会社であるため、会社設立前の平成27年4月1日から平成27年9月30日までの期間については、株式会社肥後銀行の期中平均株式数に株式移転比率を乗じた数値を用いて計算し、平成27年10月1日から平成27年12月31日までの期間については、当社の期中平均株式数を用いて計算しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

〔目 次〕

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 5
(5) 企業結合等関係	P. 6
4. (参考) 主要な連結子会社の業績の概要	P. 7
(1) 個別業績の概要 (株式会社 肥後銀行)	P. 7
(2) 個別業績の概要 (株式会社 鹿児島銀行)	P. 11

※ 平成28年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、平成27年10月1日に株式会社肥後銀行と株式会社鹿児島銀行の共同株式移転により設立されました。両行の地元を中心とした九州での存在感を更に発揮できる盤石な経営基盤を確立することで、広域化した新たな地域密着型ビジネスモデルを創造し、地元との信頼関係を更に強化するとともに経営の効率化を促進し、企業価値を高め、地方銀行として活力ある地方の実現に貢献してまいります。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)のわが国経済は、輸出・生産面で新興国経済の減速の影響が見られたものの、所得・雇用情勢の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられ、また、設備投資や公共投資が堅調に推移するなど、緩やかな回復がみられました。

このような金融経済環境のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は貸出金利息や有価証券利息配当金などにより901億26百万円となりました。

一方、経常費用は預金利息や営業経費などにより668億1百万円となりました。

この結果、経常利益は233億24百万円となりました。また、企業結合による負ののれん発生益884億87百万円を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,081億94百万円となりました。

なお、当社設立において、企業結合会計上の取得企業を株式会社肥後銀行としたため、当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)の連結経営成績は、株式会社肥後銀行の当第3四半期連結累計期間の連結経営成績を基礎に、株式会社鹿児島銀行の当第3四半期連結会計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)の連結経営成績を連結したものととなります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、総資産は8兆7,790億円となりました。また、純資産は6,080億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金の当四半期連結会計期間末残高は7兆3,885億円となりました。また、譲渡性預金の当四半期連結会計期間末残高は3,953億円となりました。

貸出金の当四半期連結会計期間末残高は5兆5,391億円となりました。

有価証券の当四半期連結会計期間末残高は2兆7,283億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月1日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、平成27年10月1日に株式会社肥後銀行と株式会社鹿児島銀行が経営統合し、共同株式移転により設立された完全親会社であり、採用する会計方針、会計上の見積り等は、従来株式会社肥後銀行と株式会社鹿児島銀行の両行が連結財務諸表作成にあたって採用していたものを引き継いでおります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年12月31日)

資産の部	
現金預け金	266,202
コールローン及び買入手形	5,853
買入金銭債権	9,934
特定取引資産	3,602
金銭の信託	19,229
有価証券	2,728,347
貸出金	5,539,101
外国為替	7,291
リース債権及びリース投資資産	46,040
その他資産	61,104
有形固定資産	92,431
無形固定資産	10,317
退職給付に係る資産	10,718
繰延税金資産	743
支払承諾見返	35,102
貸倒引当金	△56,986
資産の部合計	8,779,033
負債の部	
預金	7,388,574
譲渡性預金	395,312
債券貸借取引受入担保金	125,178
特定取引負債	536
借入金	128,460
外国為替	270
その他負債	60,350
退職給付に係る負債	10,525
睡眠預金払戻損失引当金	1,139
偶発損失引当金	634
繰延税金負債	20,017
再評価に係る繰延税金負債	4,840
支払承諾	35,102
負債の部合計	8,170,942
純資産の部	
資本金	36,000
資本剰余金	191,686
利益剰余金	325,241
自己株式	△3,599
株主資本合計	549,329
その他有価証券評価差額金	49,678
繰延ヘッジ損益	△5,965
土地再評価差額金	5,961
退職給付に係る調整累計額	△1,141
その他の包括利益累計額合計	48,533
非支配株主持分	10,227
純資産の部合計	608,090
負債及び純資産の部合計	8,779,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
経常収益	90,126
資金運用収益	51,816
(うち貸出金利息)	35,507
(うち有価証券利息配当金)	15,907
役務取引等収益	11,490
特定取引収益	59
その他業務収益	19,365
その他経常収益	7,393
経常費用	66,801
資金調達費用	4,818
(うち預金利息)	1,426
役務取引等費用	3,848
その他業務費用	15,142
営業経費	41,335
その他経常費用	1,657
経常利益	23,324
特別利益	92,760
固定資産処分益	50
負ののれん発生益	88,487
段階取得に係る差益	4,222
特別損失	253
固定資産処分損	12
減損損失	241
税金等調整前四半期純利益	115,831
法人税、住民税及び事業税	7,987
法人税等調整額	△455
法人税等合計	7,531
四半期純利益	108,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,194

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成27年4月1日
至平成27年12月31日)

四半期純利益	108,299
その他の包括利益	△5,701
その他有価証券評価差額金	△5,721
繰延ヘッジ損益	△351
退職給付に係る調整額	371
四半期包括利益	102,598
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	102,373
非支配株主に係る四半期包括利益	224

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高(百万円)	18,128	8,133	219,635	△141	245,756
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額(累計)					
株式移転による変動(注)	17,871	183,553		△3,592	197,831
剰余金の配当			△2,535		△2,535
親会社株主に帰属する四半期純利益(累計)			108,194		108,194
自己株式の取得				△14	△14
自己株式の処分		0		0	0
自己株式の消却		△0	△149	149	
土地再評価差額金の取崩			96		96
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額(累計)合計	17,871	183,553	105,606	△3,457	303,572
当第3四半期連結会計期間末残高(百万円)	36,000	191,686	325,241	△3,599	549,329

(注) 平成27年10月1日に株式会社肥後銀行と株式会社鹿児島銀行の共同株式移転により、当社設立を行ったことによる増減であります。

(5) 企業結合等関係

当社は平成27年10月1日に株式会社肥後銀行(以下、「肥後銀行」という。)と株式会社鹿児島銀行(以下、「鹿児島銀行」という。)の共同株式移転により設立されました。株式移転の会計処理では、肥後銀行を取得企業、鹿児島銀行を被取得企業とする企業結合に関する会計基準に定めるパーチェス法を適用しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

鹿児島銀行 銀行業

(2) 企業結合を行った主な理由

両行は、地域とともに「地方創生」を実現するために、両行の地元を中心とした九州における存在感を更に発揮できる盤石な経営基盤を確立し、広域化した新たな地域密着型ビジネスモデルを創造するために経営統合いたしました。

(3) 企業結合日

平成27年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式移転による共同持株会社の設立

(5) 結合後企業の名称

株式会社九州フィナンシャルグループ(以下、「九州フィナンシャルグループ」という。)

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

企業結合に関する会計基準上の取得決定要素及び各種要因を総合的に勘案した結果、肥後銀行を取得企業といたしました。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成27年10月1日から平成27年12月31日

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

株式移転直前に保有していた鹿児島銀行の普通株式と交換された九州フィナンシャルグループの企業結合日における普通株式の時価	4,837百万円
企業結合日に交付した九州フィナンシャルグループの普通株式の時価	200,809百万円
取得原価	205,647百万円

4. 株式の種類別の移転比率及びその算定方法並びに交付株式数

(1) 株式の種類別の移転比率

- ① 肥後銀行の普通株式1株に対し、九州フィナンシャルグループの普通株式1株
- ② 鹿児島銀行の普通株式1株に対し、九州フィナンシャルグループの普通株式1.11株

(2) 算定方法

複数のフィナンシャル・アドバイザーに第三者算定機関として株式移転比率の算定を依頼し、提出された報告書に基づき当事者間で協議の上、算定しております。

(3) 交付株式数

普通株式 463,375,978株

5. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益 4,222百万円

6. 負ののれん発生益の金額及び発生原因

(1) 負ののれん発生益の金額

88,487百万円

(2) 発生原因

取得原価が受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を下回ったため、その差額を負ののれん発生益として認識しております。

4. (参考) 主要な連結子会社の業績の概要

(1) 個別業績の概要 (株式会社 肥後銀行)

平成28年2月8日

会社名 株式会社 肥後銀行
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 甲斐 隆博 URL <http://www.higobank.co.jp/>
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総合企画部長 (氏名) 徳永 賢治 TEL 096-325-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の個別業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	58,255	9.3	17,982	18.6	12,112	21.9
27年3月期第3四半期	53,315	△3.4	15,163	△8.1	9,932	△4.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	52.55	—
27年3月期第3四半期	43.08	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,569,670	298,815	6.5
27年3月期	4,724,617	297,519	6.3

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

○ 四半期個別財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

株式会社 肥後銀行

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
現金預け金	294,480	139,296
コールローン	147	184
買入金銭債権	806	997
特定取引資産	1,830	1,203
金銭の信託	4,942	4,905
有価証券	1,633,265	1,570,181
貸出金	2,689,079	2,776,681
外国為替	4,479	4,967
その他資産	42,302	16,917
有形固定資産	53,822	53,806
無形固定資産	5,779	5,704
前払年金費用	3,676	3,759
支払承諾見返	9,634	9,551
貸倒引当金	△19,629	△18,487
資産の部合計	4,724,617	4,569,670
負債の部		
預金	3,875,035	3,923,491
譲渡性預金	326,004	202,040
債券貸借取引受入担保金	74,894	47,505
特定取引負債	591	536
借入金	42,403	42,412
外国為替	34	85
その他負債	71,434	21,711
未払法人税等	3,523	1,824
リース債務	2,752	2,365
資産除去債務	308	216
その他の負債	64,849	17,305
役員賞与引当金	78	—
退職給付引当金	8,398	8,337
睡眠預金払戻損失引当金	852	643
偶発損失引当金	395	387
繰延税金負債	12,454	9,310
再評価に係る繰延税金負債	4,886	4,840
支払承諾	9,634	9,551
負債の部合計	4,427,098	4,270,854

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
資本金	18,128	18,128
資本剰余金	8,133	8,133
資本準備金	8,133	8,133
その他資本剰余金	0	—
利益剰余金	215,585	225,108
利益準備金	18,128	18,128
その他利益剰余金	197,456	206,979
不動産圧縮積立金	355	355
別途積立金	181,387	190,387
繰越利益剰余金	15,714	16,237
自己株式	△141	—
株主資本合計	241,706	251,371
その他有価証券評価差額金	55,369	47,392
繰延ヘッジ損益	△5,614	△5,909
土地再評価差額金	6,058	5,961
評価・換算差額等合計	55,813	47,444
純資産の部合計	297,519	298,815
負債及び純資産の部合計	4,724,617	4,569,670

(2) 四半期損益計算書

株式会社 肥後銀行

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
経常収益	53,315	58,255
資金運用収益	40,157	40,407
(うち貸出金利息)	26,867	26,182
(うち有価証券利息配当金)	12,827	13,870
役務取引等収益	8,724	8,746
特定取引収益	30	17
その他業務収益	1,527	2,392
その他経常収益	2,876	6,691
経常費用	38,152	40,273
資金調達費用	4,192	4,178
(うち預金利息)	1,194	1,133
役務取引等費用	3,217	3,310
その他業務費用	423	1,134
営業経費	29,121	30,552
その他経常費用	1,197	1,097
経常利益	15,163	17,982
特別利益	210	50
特別損失	224	248
税引前四半期純利益	15,148	17,784
法人税、住民税及び事業税	4,655	5,046
法人税等調整額	560	625
法人税等合計	5,215	5,672
四半期純利益	9,932	12,112

(2) 個別業績の概要 (株式会社 鹿児島銀行)

平成28年2月8日

会社名 株式会社 鹿児島銀行
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 上村 基宏 URL <http://www.kagin.co.jp/>
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 松永 裕之 (TEL) 099-225-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の個別業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 個別経営成績 (累計)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	52,815	8.4	16,683	19.7	11,458	21.2
27年3月期第3四半期	48,729	△5.5	13,937	4.3	9,452	9.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	54.61	—
27年3月期第3四半期	45.04	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,196,394	306,114	7.2
27年3月期	4,056,429	304,311	7.5

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

○ 四半期個別財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

株式会社 鹿児島銀行

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
現金預け金	103,026	126,493
コールローン	—	5,668
買入金銭債権	9,445	8,367
商品有価証券	179	2,399
金銭の信託	13,462	14,323
有価証券	1,180,456	1,168,812
貸出金	2,682,489	2,801,513
外国為替	2,248	2,323
その他資産	5,213	9,232
有形固定資産	54,632	54,292
無形固定資産	4,935	3,878
前払年金費用	9,178	9,735
支払承諾見返	24,667	25,138
貸倒引当金	△33,506	△35,784
資産の部合計	4,056,429	4,196,394
負債の部		
預金	3,447,579	3,474,105
譲渡性預金	107,467	199,991
コールマネー	24,514	—
債券貸借取引受入担保金	16,628	77,673
借入金	90,133	70,129
外国為替	58	185
その他負債	18,233	24,195
未払法人税等	3,001	2,668
リース債務	1,482	1,346
資産除去債務	183	190
その他の負債	13,566	19,990
退職給付引当金	1,602	1,676
睡眠預金払戻損失引当金	550	495
偶発損失引当金	260	247
繰延税金負債	13,033	9,101
再評価に係る繰延税金負債	7,387	7,339
支払承諾	24,667	25,138
負債の部合計	3,752,117	3,890,279

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
資本金	18,130	18,130
資本剰余金	11,204	11,204
資本準備金	11,204	11,204
その他資本剰余金	0	—
利益剰余金	208,564	217,521
利益準備金	18,130	18,130
その他利益剰余金	190,433	199,391
固定資産圧縮積立金	527	527
固定資産圧縮特別勘定積立金	235	235
別途積立金	176,000	183,000
繰越利益剰余金	13,670	15,627
自己株式	△385	—
株主資本合計	237,514	246,857
その他有価証券評価差額金	52,079	44,577
繰延ヘッジ損益	△109	△55
土地再評価差額金	14,827	14,736
評価・換算差額等合計	66,797	59,257
純資産の部合計	304,311	306,114
負債及び純資産の部合計	4,056,429	4,196,394

(2) 四半期損益計算書

株式会社 鹿児島銀行

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
経常収益	48,729	52,815
資金運用収益	35,537	36,917
(うち貸出金利息)	27,662	27,639
(うち有価証券利息配当金)	7,655	9,107
役務取引等収益	8,319	8,367
その他業務収益	1,630	792
その他経常収益	3,241	6,738
経常費用	34,791	36,132
資金調達費用	1,726	1,765
(うち預金利息)	834	871
役務取引等費用	2,616	2,901
その他業務費用	160	242
営業経費	28,150	27,293
その他経常費用	2,137	3,929
経常利益	13,937	16,683
特別利益	341	0
特別損失	131	75
税引前四半期純利益	14,147	16,607
法人税、住民税及び事業税	4,076	5,719
法人税等調整額	619	△569
法人税等合計	4,695	5,149
四半期純利益	9,452	11,458